

8月3日に新潟地方気象台が発表した1か月予報(8月3日～9月2日)では、向こう1か月は平年に比べ晴れの日が多くなり、気温は高く、日照時間は多い見込みです。降水量は平年並み又は少ない見込みです。

稲作技術情報

○出穂後の積算温度で刈り取り適期の目安を確認

品 種	平年	高温年
早生（こしいぶき、五百万石 等）	975℃	925℃
中生（コシヒカリ、こがねもち 等）	1,000℃	950℃
晩生（新之助、あきだわら 等）	1,050～1,100℃	1,000～1,050℃

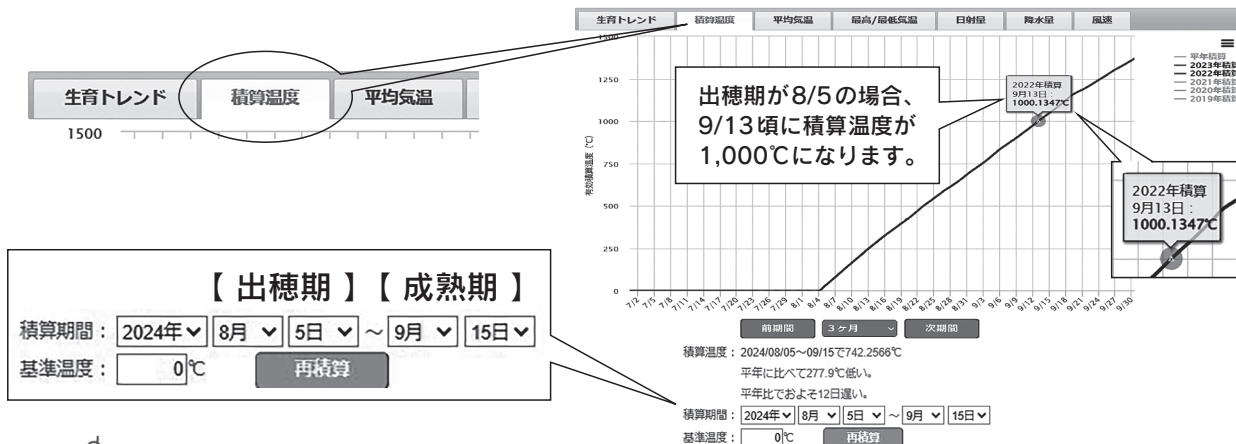
過去6年間のうち4回が高温登熟年であり、積算温度950℃で刈り取り適期を迎えました。令和6年産は、昨年の状況を踏まえ850℃には刈り取り作業を開始できるよう準備を進め、作業のピークが950℃～1,000℃となるよう計画を立てましょう。

表1：近年の刈取り適期判定（JAみなみ魚沼）

年	刈り取り指導	年	刈り取り指導
2023	高温登熟年	2020	高温登熟年
2022	通常登熟年	2019	高温登熟年
2021	通常登熟年	2018	高温登熟年

○アグリルックを活用した積算温度による収穫期予測

1. アグリルックにログインし、ご自身の圃場を選択する。
2. 【生育トレンド】または【圃場詳細】を表示する。
3. 【積算温度】を選択し、積算期間に出穂期と成熟期（積算温度1,000℃）を入力して、【再積算】または【再計算】を行う。（下の画像を参考にしてください）
※2023年は高温登熟年だったため、通常登熟年（2022年）の予測値を参考に刈り取り時期の検討を行いましょう。



【アグリルックへのアクセス】

<https://www.agrilook-info.jp/minamiuonuma/>
ユーザー ID：user パスワード：user

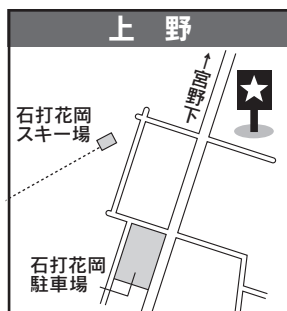
スマートフォン
タブレット版



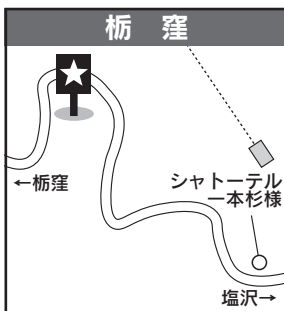
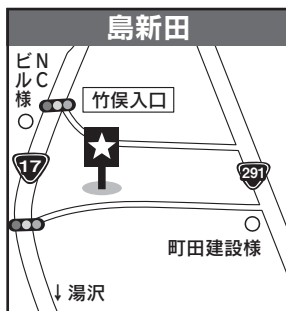
令和6年度 積算温度計 設置場所

《塩沢・湯沢版》

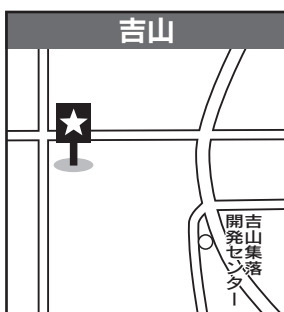
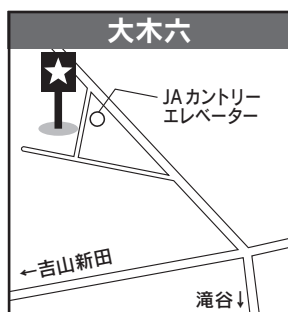
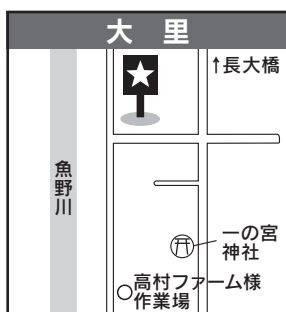
石 打 地 区



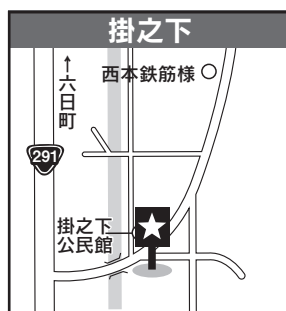
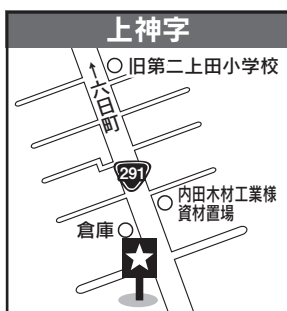
塩 沢 地 区



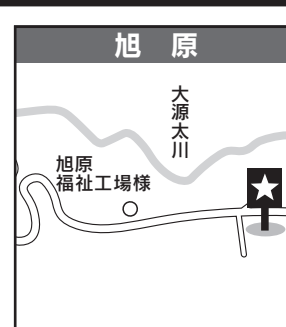
中之島地区



上 田 地 区



積算温度と、
靱の黄化率を確認し
適期刈取りに
努めましょう！



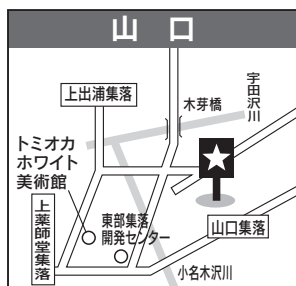
湯 沢 地 区



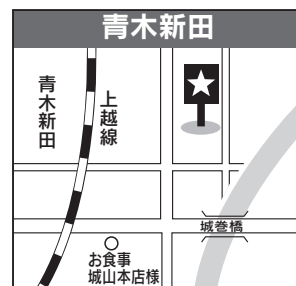
令和6年度 積算温度計 設置場所

《六日町・大和版》

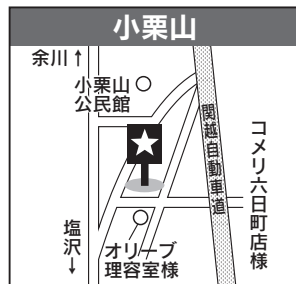
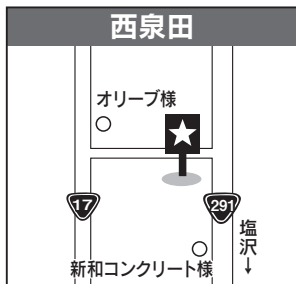
城内地区



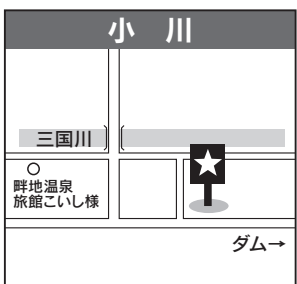
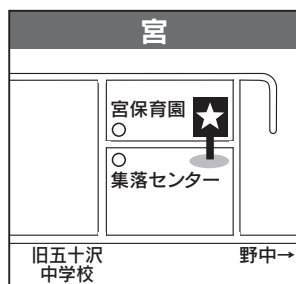
大巻地区



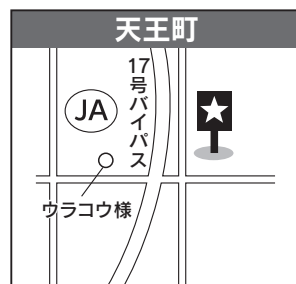
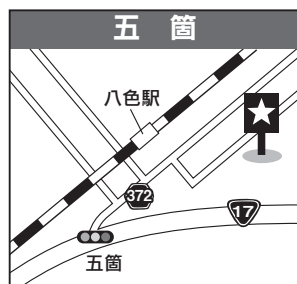
六日町地区



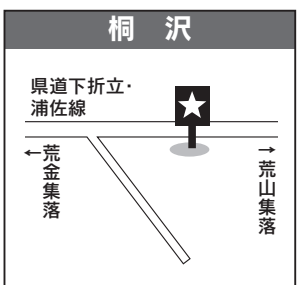
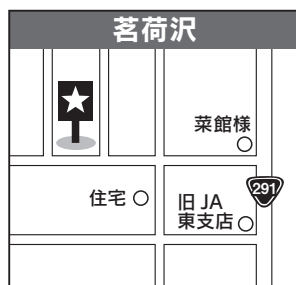
五十沢地区



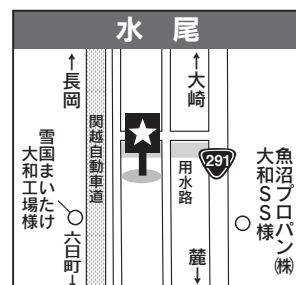
浦佐地区



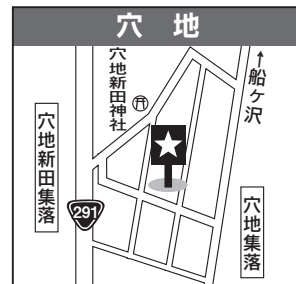
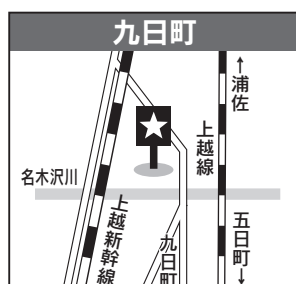
東地区



大崎地区



藪神地区



積算温度と、
粉の黄化率を確認し
適期刈取りに
努めましょう！

園芸技術情報

☆キャベツ(7月播種～8月定植～年内収穫)

7月中に播種したキャベツ苗の定植時期(播種後25～30日で定植)となります。8月末までに定植し、年内に収穫しましょう！



1. 施肥例

施肥例を参考に、定植1週間前までに畑の準備をしましょう。

〈10㎡あたり〉

肥料名	施肥量		備 考
	基肥	追肥	
べこの堆肥	20kg		
粒状苦土炭カル	1.8kg		
MMB燐加安	2.0kg		微量元素含む
苦土重焼燐	1.2kg		黒ボク土壌はリン酸分が不足しやすい
ケイ酸加里プレミア34	0.2kg		マグネシウムやホウ素を含む
NK化成		0.7kg×2回	<追肥の目安> 1回目：定植10日後、根が活着した頃 2回目：定植1ヶ月

2. 病害虫対策

〈10㎡あたり〉

病害虫名	薬剤名	使用時期	使用量	使用回数	使用方法
根こぶ病・菌核病	ネビジン粉剤	播種又は定植前	300g	2回以内	全面土壌混和
黒腐病	オリゼメート粒剤	定植時	60～90g	1回	全面土壌混和又は
ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5	播種又は定植時	40～60g	2回以内	作条土壌混和
	ガードベイトA	生育初期	30g	5回以内	株元散布
アオムシ・コナガ	スタークル粒剤	定植時	2～3g/株	1回	植穴土壌混和
	ダントツ粒剤		2g/株		

3. 雑草対策

〈10㎡あたり〉

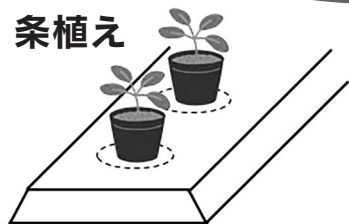
薬剤名	使用時期	使用量		使用回数	使用方法
		薬量	希釈水量		
ゴーゴーサン乳剤30	定植前 (雑草発生前)	2～4ml	0.7～1.5ℓ	1回	全面土壌 散布
クレマート乳剤			1.0～1.5ℓ		

4. 定植

根の活着の良否がその後の生育に大きな影響を及ぼすので、本葉4枚程度の若苗で晴天の午前中に定植しましょう。また、定植後の灌水の際に液肥を利用すると活着が進みます。

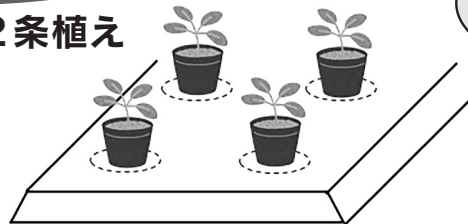
栽植密度の目安

1条植え



畝幅70cm × 株間40cm

2条植え



畝幅140cm × 株間40cm × 条間50cm

定植の際は、あらかじめ定植苗と植穴にたっぷり灌水しておきましょう。



農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・使用回数・倍率等を確認し正しく使用しましょう。掲載している資材について、JA資材店舗在庫切れの場合は取り寄せとなります。ご了承ください。

JAからのお知らせ

収穫めやすとなる
積算温度情報等をタイムリーに受け取れる!!

登録お待ちしております!!

LINE登録者募集

積算温度の情報などを随時発信していきますので
是非ご活用ください。

右のQRより登録をお待ちしております。



JAみなみ魚沼 営農部LINE QR

資材課からのお知らせ

◎令和7年度 肥料農薬申し込みについて

令和7年度の肥料につきましても、引き続き不安定な状況が継続する見通しであり、当用購買供給については、価格が大きく変動することも予想されることから、生産者の皆様への安定供給に向け「予約購買供給」は重要となっております。

ぜひともこの機会に精度の高いご予約を頂きますようお願いいたします。

◎土壌診断サービスについて

資材課では、次年度の稲作作付に向けた水田の土壌診断サービスを実施します。

ご希望の方は、土壌診断申込書を各アグリセンターに備え置きいたしますので、必要事項をご記入の上、土壌サンプルとあわせて10月末日までにご提出ください。

なお、より多くの皆様からご利用いただけるよう、診断はお一人様一点とさせていただきます。

◎《臨時休業日》のお知らせ

棚卸し作業のため下記のとおりアグリセンター（大和・六日町・しおざわ・湯沢）各店舗を臨時休業させていただきます。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

臨時休業日：令和6年8月31日(土) 終日休業

※ご不明な点がございましたら、各アグリセンターまでお問い合わせください。

- アグリセンター大和 TEL777-2431
- アグリセンター六日町 TEL773-6121
- アグリセンターしおざわ TEL775-7488
- アグリセンター湯沢 TEL785-5313

次号「あぜみち」予告

- 稲作…刈り取り目安について
- 園芸…秋野菜の病害虫防除

ご不明な点がございましたら、JA みなみ魚沼営農指導課までお問い合わせください。

- ◎アグリセンター大和 TEL777-3786
- ◎アグリセンター六日町 TEL773-6121
- ◎しおざわ基幹センター TEL782-1171